

MOBOTIX ネットワークカメラ 簡易接続マニュアル

このドキュメントは、カメラを使用出来るようにする為の初期設定手順を示したものです。
対応するカメラのファームウェアバージョンは以下の通りです。

M12 , D12 , M22 , D22 , Q22 → Firmware version 3.5.2.23r3
M24 , D24 , Q24 , T24 → Firmware version 4.0.2.33r2

●一番始めの接続方法

- ・カメラの外周面に、10. で始まる番号の記載されたバーコードシールが貼れています。
この番号がカメラのシリアル番号 兼 初期 IP アドレス になります。

LAN ケーブル (ストレート) を 1 本、ご用意ください。

PC の IP アドレスを、このカメラの IP アドレスと同じセグメントにして頂き、
(例えば PC の IP アドレスを 10.0.0.100、サブネットマスクを 255.0.0.0 に)
本書 1 6 ページの図解を参照の上で接続して頂きます。

PoE アダプタと PC との間の LAN ケーブルはストレートで構いません。

カメラに通電後、1 分ほどしましたら、PC で **Inetrnet Explorer** を開き、
アドレス欄に カメラの IP アドレスを入力して **Enter** キーを押して頂きます。

カメラの映像が表示されましたら、接続は完了です。

<注意>

- 検索ページが開けません などのメッセージが出る場合には、プロキシサーバー等の設定がされている可能性がございます。
- この接続では、カメラ以外の接続はありませんので、プロキシサーバーの設定は **OFF** にして行っていただきますよう、お願いいたします。
- ファイヤーウォールソフト等が動作していると接続できない場合がございます。
ファイヤーウォールソフトは必ず終了してからおためしてください。
- google アドイン等でポップアップ表示をはじく設定になっているとメニュー画面が表示されない場合がございます。必ずポップアップ表示を許可する設定で
ご使用下さい。

- Vista をご使用の場合、OS 標準でセキュリティ機能が有効になっています。
弊社のカメラに限らず、ネットワークカメラを接続される場合、ファイアウォール等で通信を阻害されることがございますので、ファイアウォール等は必ず OFF の状態でご使用下さい。

- 初期設定方法

- ・カメラに接続できましたら、初期設定を行っていただけます。
カメラ画面左上にある Admin Menu ボタンをクリックします。

ユーザ名とパスワードをきいてきますので、以下の初期ユーザ名とパスワードを入力して OK をクリックします。

ユーザ名 : admin
パスワード : meinsm

Quick Installation 画面が表示されます。



言語選択を en から jp に変更し、右下にある > ボタンをクリックします。

簡単設定

はじめに



MOBOTIX簡単設定ウィザードにようこそ。

このあとの手順に従って、カメラの動作を簡単に設定することができます。

注意:先に進む前に、このソフトウェアリリースの [概要](#)と [お知らせ](#)のページをお読みください。

閉じる ページを初期化します。 < >

簡単設定 の はじめに が表示されます。右下の > ボタンをクリックします。

簡単設定

出荷時状態にリセット

システム設定を確実にするために、カメラの設定値を工場出荷時状態にリセットすることをお勧めします。

- 現在のシステム設定を捨て、工場出荷時設定にします。
注意:ユーザ名とパスワードの設定内容は変更されません。
- 現在のシステム設定に変更を加えます。

閉じる ページを初期化します。 < >

上の項目が選択されている事を確認し、> ボタンをクリックします。

簡単設定 セキュリティ

カメラへのアクセスは、ユーザー名とパスワードで管理されます。カメラ管理者の工場出荷時設定値は、ユーザー名admin(管理者)、パスワードmeinsmです。

セキュリティ上の理由から、管理者アカウントのデフォルトパスワードは必ず変更してください！

admin(管理者)のユーザー名とパスワードの設定を変更しません。

admin(管理者)のパスワードを変更します。

新しいパスワード

新しいパスワード(確認)

ユーザー名やパスワードは必ず書きとめ、安全な場所に保存してください！

注意: 管理者パスワードを忘れてしまうと、カメラをMOBOTIX社に返送し、工場出荷時設定にリセットしなければなりません！

閉じる

ページを初期化します。

< >

admin のパスワードの変更を求められます。

ここでは「変更しません」を選択して頂き、> ボタンをクリックします。

簡単設定 公的アクセス設定

工場出荷時設定値ではカメラは承認なしに公的アクセスが可能です。ライブ画像へのアクセス、イベントや画像の保存、イベント設定は、制約なしで行うことが可能です。セキュリティレベルの高い環境で公的アクセスを停止することを強くお勧めします。

はい

いいえ

閉じる

ページを初期化します。

< >

公的アクセスの制限の有無を選択します。

ここでは「いいえ」を選択して頂き、> ボタンをクリックします。

簡単設定
国設定

カメラを設置する場所のタイムゾーンを選択してください。

タイムゾーン: Asia Tokyo

現在のカメラ時刻: 2010-07-31 17:06:47 JST

ヒント:カメラの時刻設定はAdminメニュー→日付と時間で行います。

閉じる ページを初期化します。 < >

タイムゾーンを選択します。Asia と Tokyo を選択し > ボタンをクリックします。

簡単設定
オーディオ設定

カメラにはマイクロホンとスピーカが組込まれています。内蔵ISDNポートまたはISDNインターフェースカードを使用して、カメラをISDN電話機として使用できます。MxViewerはコンピュータとカメラ間でTCP/IP接続によるオーディオ情報の送受信を行います。カメラのRキーを押すと、カメラはスピーカからネットワークデータをアナウンスします。

動作デバイスの選択:

マイクロホン
 スピーカ

注意:マイクを永久停止させる場合は、Adminメニュー→スピーカとマイクロホンを開き、全体をクリックしてから動作停止をクリックしてください。

閉じる ページを初期化します。 < >

オーディオ設定を行います。

カメラ内蔵のマイクやスピーカを使用したい場合にはチェックを付けてください。

設定が終わりましたら > ボタンをクリックします。

※D24 , D22 にはマイクやスピーカは付いていませんが、メニューは表示されます。

簡単設定

カメラ名

カメラに名前をつけてください。使用できる文字は英数字と"."です。

以下に示されるカメラ名はカメラ自身以外にはわかりません。他のコンピュータにカメラ名を通知するには、システム管理者がDNS(Domain Name Service)にカメラ名を登録しなければなりません。

カメラ名:

工場出荷時設定値

閉じる

ページを初期化します。



カメラ名の設定画面が表示されます。

このままの状態 で > ボタンをクリックします。

簡単設定

ネットワークインターフェース

MOBOTIXカメラは複数のネットワークインターフェースがあります。使用したいインターフェースを選択してください。

Local Area Network (推奨)用のイーサネット



ISDNダイヤル発信は、ISDNインターフェースカードでカメラとPCを接続するため、たとえばInternet Service ProviderやISDNダイヤル着信の接続に使用できます。

ISDNダイヤル着信(PCからカメラへ)

ISDNダイヤル発信(カメラからISPへ)

ISDNを使用してカメラから電話機へ発信、またはカメラから音声メッセージを送信できません。

ISDN電話着信(電話機からカメラへ)

ISDN電話発信(カメラから電話機へ)

閉じる

ページを初期化します。



M12 と D12 では、インタフェースの使用画面が表示されます。

ISDN のチェックを外し、**Ethernet** のみチェックを入れた状態で > ボタンをクリックします。

簡単設定

イーサネットインターフェース

カメラはLAN上のコンピュータにイーサネットインターフェースで直接、接続可能です。そのためにはカメラにIPアドレスを割り当てなければなりません。

あなたが利用するネットワーク上でDHCPサービスが運用されていれば、IPアドレスは手動または自動で割り当てられます。

DHCPはTCP/IPネットワーク上のホストのIPアドレス取得を許可し、またホストが属するネットワークに関するその他の情報の取得も許可します。

- IPアドレスとネットワーク設定値をDHCPで自動的に要求します。
ヒント:カメラのRキーを押すと、ネットワーク構成がアナウンスされます。
- イーサネットインターフェースをマニュアル設定します。

閉じる

ページを初期化します。

<

>

IPアドレスをDHCPで取得するかどうか聞いてきます。

カメラには固定IPを振って頂くのが望ましいので、ここでは「マニュアル設定」が選択されている事を確認の上、> ボタンをクリックします。

簡単設定

イーサネットインターフェース

カメラに固有のIPアドレスとネットワークマスクを割り当てます。これらの値はドットで区切った4組の数値(0~255)です。ネットワークマスクは他にどのIPアドレスがLANに直接接続できるかを表します。LAN経由でカメラにアクセスするため、コンピュータにはカメラと同じサブネット上のIPアドレスが必要です。

利用できるIPアドレスやネットワークマスクはネットワーク管理者にお問い合わせください。

カメラのIPアドレス:

カメラのネットワークマスク:

工場出荷時設定値

ヒント:カメラの出荷時IPアドレスは10.3.236.230、ネットワークマスクは255.0.0.0です。この値がお使いのネットワークと一致する場合は工場出荷時設定値をご使用ください。

閉じる

ページを初期化します。

<

>

IPアドレスとサブネットマスクの入力画面が表示されます。

接続したいLAN環境に合わせた設定値を入力後 > ボタンをクリックします。

簡単設定

デフォルトルート

ネットワークデータパケットは、ユーザが設定したインターフェースのどれでも使用できます。任意のIPアドレスに対し、ネットワークルートは使用するインターフェースを定義します。一致するルートがない場合、デフォルトルートが使用されます。

デフォルトルートインターフェースをイーサネットに設定した場合、ゲートウェイIPアドレスを入力する必要があります。有効なゲートウェイIPアドレスは、カメラのローカルネットワークに到達できるものである必要があります。したがってIPアドレスは次からはじめます: 10.

デフォルトルートインターフェース:

ゲートウェイIPアドレス:

提案:

閉じる

ページを初期化します。

<

>

デフォルトゲートウェイの設定画面が表示されます。

必要な場合にのみ入力して頂き、> ボタンをクリックします。

簡単設定

ドメインネームサービス(DNS)

Domain Name Service(DNS)は、コンピュータ名(例:www.mobotix.com)からIPアドレスを特定するものです。

シンボル名でPCにアクセスしたい場合、3台までのDNSサーバのIPアドレスを入力します(1回網に1台)。IPアドレスはカメラのローカルネットワーク内である必要があります。

DNSサーバ IPアドレス:

DNSなし

閉じる

ページを初期化します。

<

>

DNS サーバの入力画面が表示されます。

必要な場合にのみ入力して頂き、> ボタンをクリックします。

簡単設定


FTPサーバへの画像転送

FTP (File Transfer Protocol)は、クライアント(例:MOBOTIXカメラ)からサーバ(例:ホームページを設置したPC)にファイル転送する標準的なインターネットプロトコルです。

サーバをアクセスするには、FTPサーバ名またはIPアドレスを入力し、ログイン名とパスワードを入力します。

FTPサーバ IPまたは名前: FTPなし

ログイン名:

パスワード: 

FTPサーバへは画像をMOBOTIX/test.jpgで保存します。

注意:

- FTPプロファイルはここで作成され、**Adminメニュー**→**FTPプロファイル**にFTPQ11という名前でFTPQ11保存されます。
- サーバの設定(**FTPサーバIPまたは名前**、**ログイン名**、および**パスワード**)はプロファイルそれぞれ自身に入力され、**全体**ボタンを押してもただ確認するだけです。

閉じる

ページを初期化します。

<

>

FTP で画像転送する際の FTP サーバの情報を入力する画面が表示されます。
ここでは何も入力せずに、> ボタンをクリックします。

簡単設定

ビデオコーデック

使用するアプリケーションによって、MOBOTIXカメラはビデオ映像をJPEGまたはMxPEG形式にエンコードすることができます。希望する設定を選択してください。

- ウェブアプリケーション(JPEGモード)
JPEG(Joint Picture Expert Group)形式で画像を作成します。このコーデックはモーションJPEGと呼ばれます。このビデオストリームは最高画質の連続JPEG画像です。このモードはウェブアプリケーションに最適です。
- 高速オーディオ・ビデオストリーミング (MxPEGモード)
MxPEGモードでは、カメラはMOBOTIX独自の映像圧縮方法でデータストリームを作成します。MxPEGでは、大型フォーマットのライブビデオを非常に低いネットワーク負荷(100 Mbpsで1%)、最大30フレーム/秒で実行できます。カメラ内部でMxPEGビデオストリームを作成しますが、ブラウザベースのユーザインターフェースでも見ることができます。
ヒント:画像ストリームを見たり保存したりするには、ウィンドウズ用のMxViewerが必要です。[MOBOTIXのホームページ](#)で最新のバージョンを確認できます。

ヒント:設定を変更するために**セットアップメニュー**→**JPEG設定**を開きます。

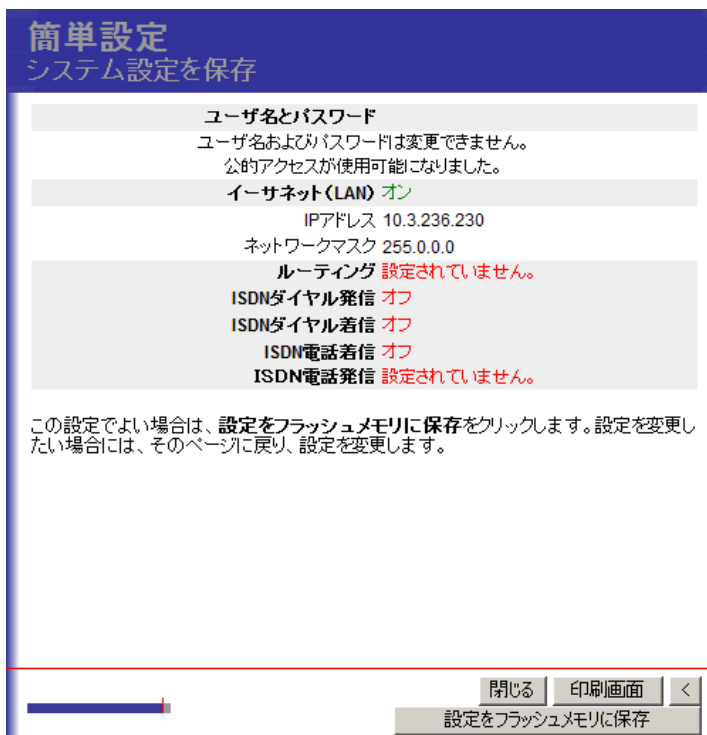
閉じる

ページを初期化します。

<

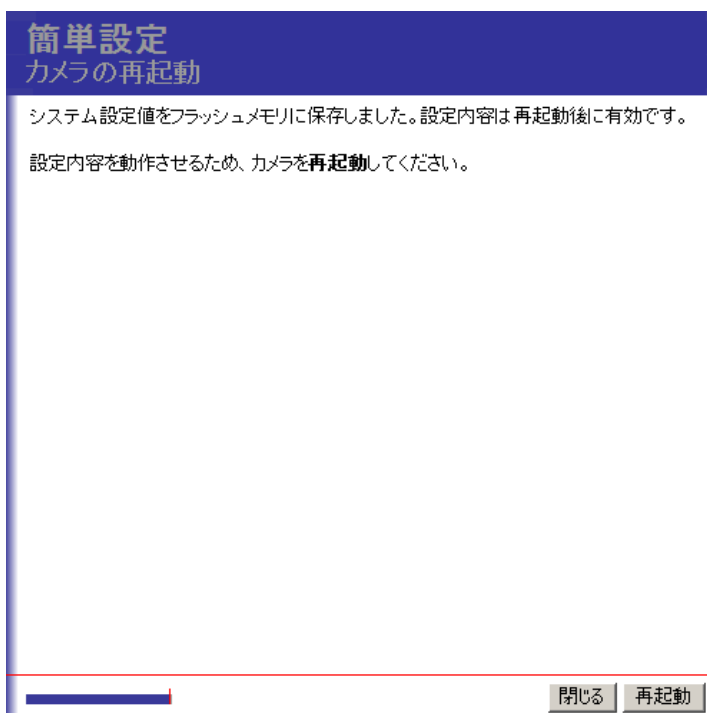
>

ビデオコーデックの選択画面が表示されます。
ここでは、このままの状態 > ボタンをクリックします。



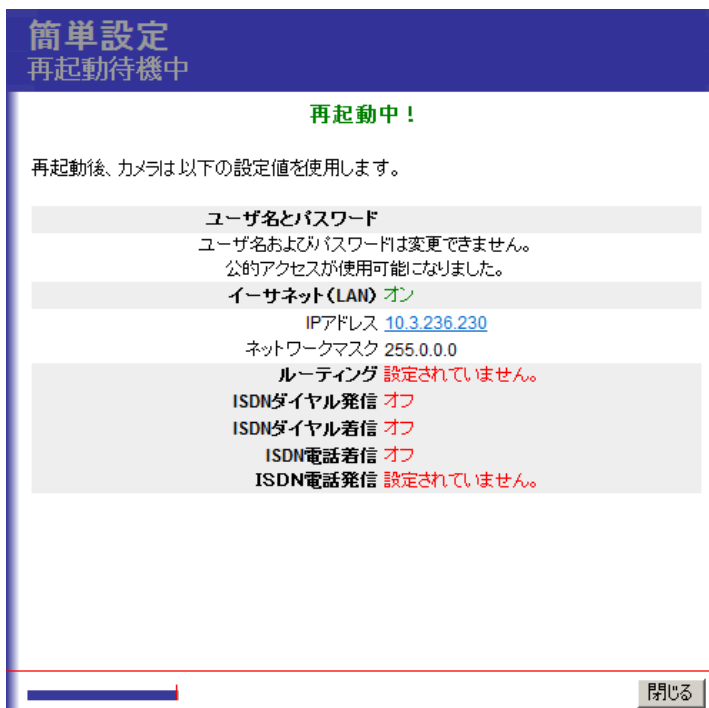
システム設定の保存画面が表示されます。

設定確認後に「設定をフラッシュメモリに保存」ボタンをクリックします。



カメラの再起動画面が表示されます。

右下にある「再起動」ボタンをクリックし、カメラを再起動します。



再起動中 の画面は 閉じる ボタンで閉じてしまって構いません。
約1分ほどすると、カメラは新しい設定で起動します。

<注意>

IP アドレスを変更した場合、現在の PC のセグメントと異なる場合は PC 上でカメラの映像を見ることは出来なくなっています。

PC 上で再度カメラの映像や設定を確認する場合は、

- ・ PC のネットワーク設定を、カメラと同じセグメントにして、再度 IE からカメラにアクセスする
- ・ LAN 環境に接続し、LAN 内の PC の IE からカメラにアクセスする

のいずれかの方法で行ってください。

なお、後者の場合には、PoE アダプタと AC アダプタの接続方法が変わります。

詳しくは本書 15 ページの図をご参照ください。

●カメラの映像をスムーズに見るための操作を行う

MOBOTIX カメラは、IE に対応した ActiveX を PC にインストールする事で全ての機能を使用することが出来ます。

ここでは、カメラの初期動作を ActiveX 動作に変更する方法を示します。

1. カメラの映像を IE で表示します。

右上にある Admin Menu ボタンをクリックし、Admin Menu を開きます。

<TIPS>

ユーザ名とパスワードを聞かれたら、本書 2 ページにある初期ユーザ名とパスワードを入力し OK をクリックします。

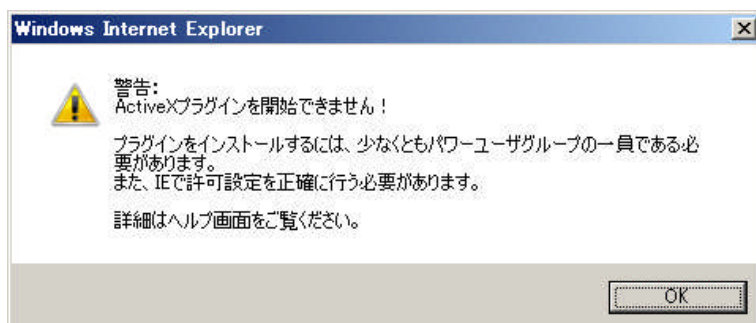
2. 画面管理 中にある 言語とエントリー画面 をクリックします。

3. 画面下の方にある 表示方法 を Server Push から ActiveX に変更します。

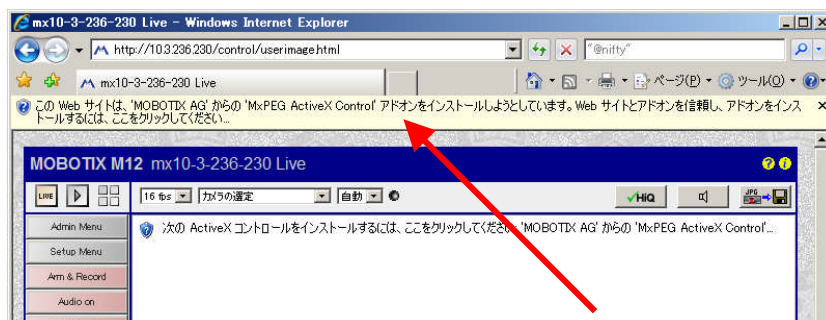
4. 画面下にある 設定 ボタンをクリックします。

5. 一度も MOBOTIX カメラの ActiveX をインストールしたことがないパソコン、もしくは、現在より古い ActiveX のインストールされているパソコンでは、しばらくしてから以下のダイアログが表示されます。

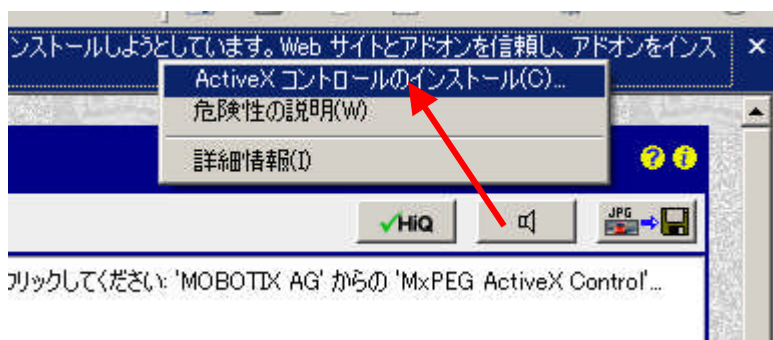
※以下のダイアログが表示されない方は、完了です。



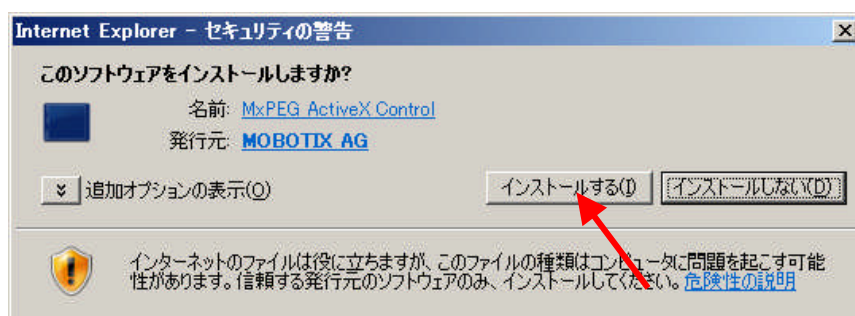
OK をクリックします。



そして、Internet Explorer の情報バー部分をクリックします。



そして、ActiveX コントロールのインストール をクリックします。



セキュリティの警告画面が表示されましたら、インストールする をクリックします。ActiveX がインストールされ、カメラのライブ映像が表示されます。

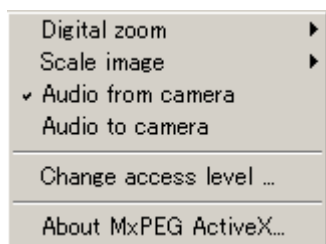
裏画面に隠れてしまっている 言語とエントリー画面 のウインドウを表示し、 閉じる ボタンをクリックします。

カメラの設定を保存する画面が表示されたら、OK をクリックします。

<TIPS>

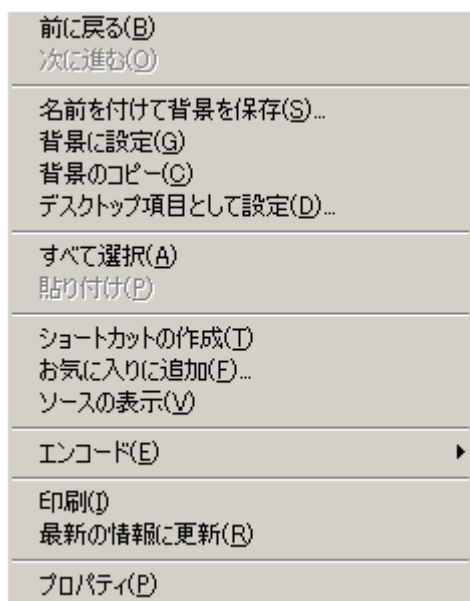
ActiveX が正常にインストールされたかどうかは、以下の手順でご確認ください。

- ・ライブ画面のカメラ映像の中を1度クリックして頂いた後、今度はカメラ映像を右クリックします。



このようなメニューが出れば、ActiveX は正常に動作しています。

もし、



のような、IE の通常メニューが表示される場合は ActiveX が正常にインストールされておられません。

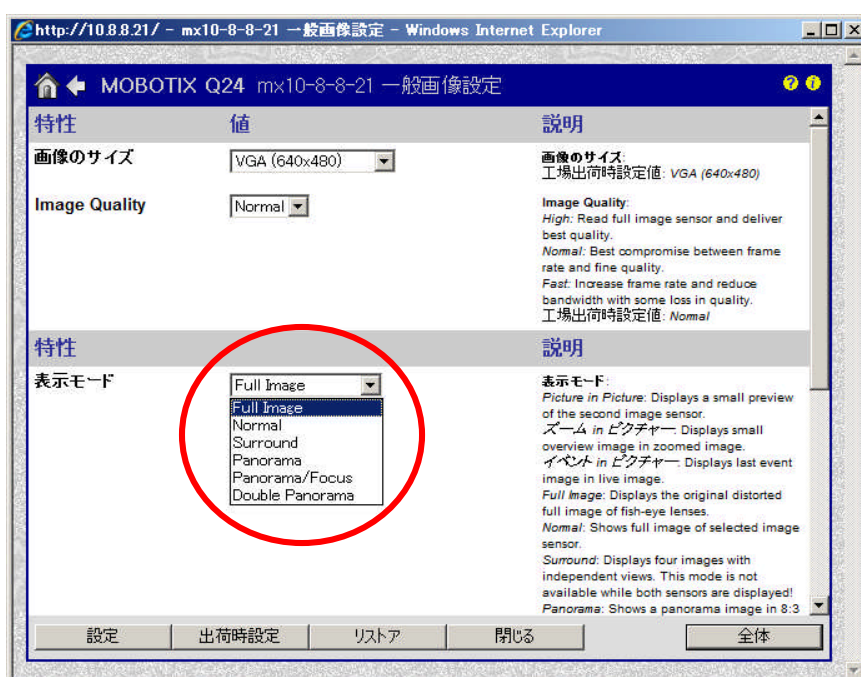
ActiveX のインストール手順を再度ご確認ください。ネットワーク管理者様までお問い合わせくださいますようお願いいたします。

● 映像の表示方法を変更する

Q24 や Q22 の場合は、360 度表示で使用するのが望ましいです。

デフォルト状態ですとパノラマモードで起動しますので、360 度表示には以下の手順で変更します。

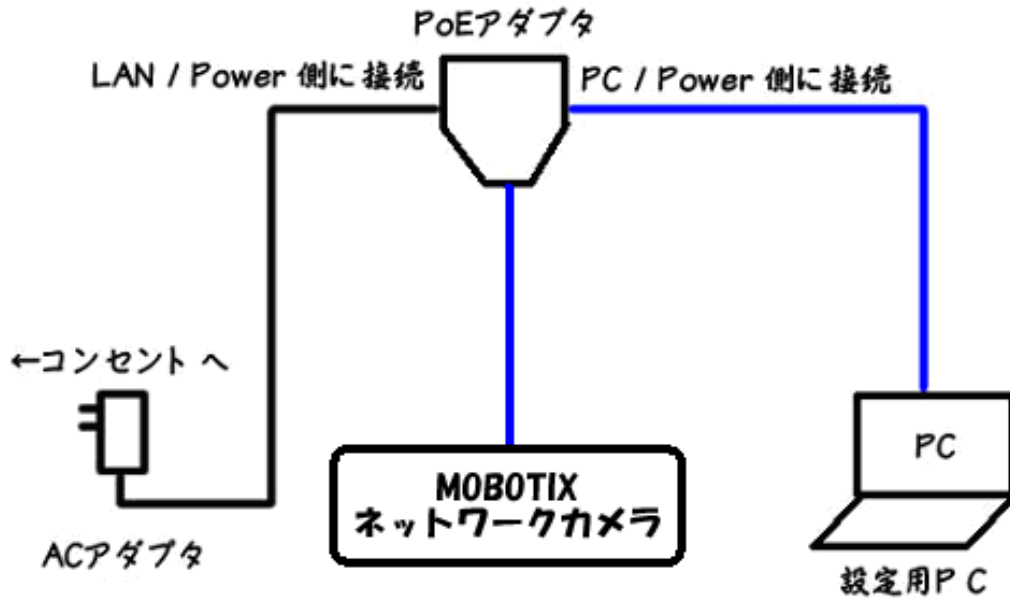
1. Setup Menu に入ります。
2. 画像コントロール 内の 一般画像設定 に入ります。
3. 表示モード を Full Image に変更します。



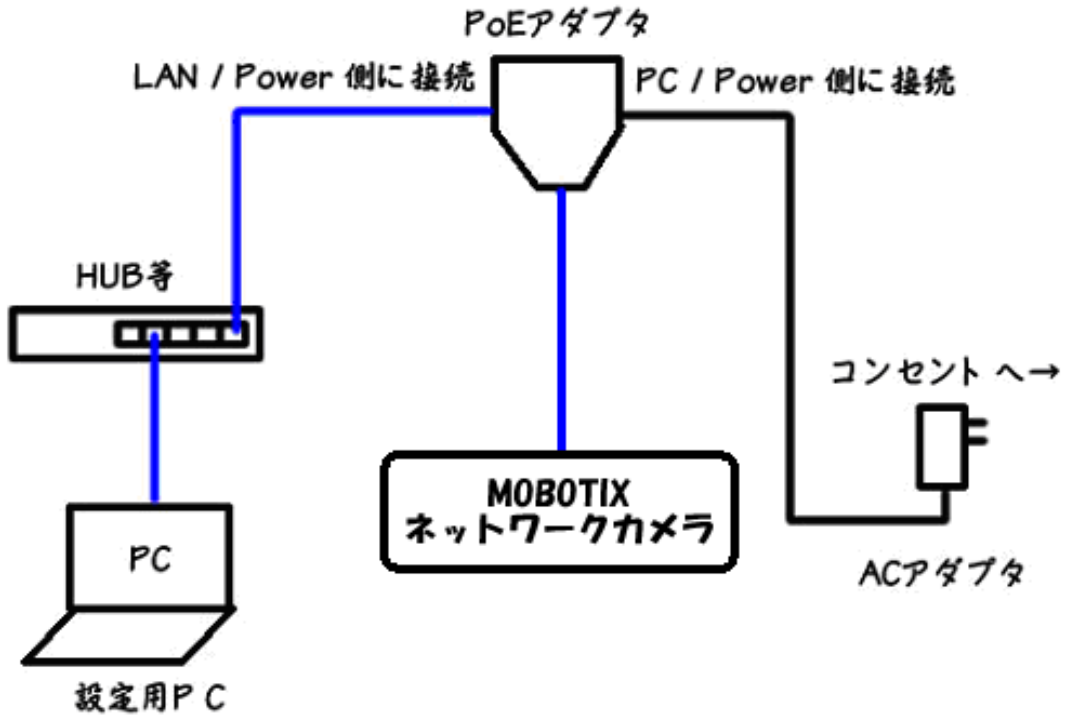
4. 設定 ボタンを押します。
一般画像設定 のウィンドウが裏画面になりましたら、表表示にし、
閉じる ボタンを押します。
保存する旨のダイアログボックスが表示されましたら OK をクリックします。

<図解説明>

- カメラとPCを直に接続する場合



- カメラをハブ等を経由してPCと接続、もしくはカメラをLANに接続する場合



MXJ_CameraManual_QuickInstall_Rev4.0.pdf

07/31/2010

MOBOTIX JAPAN

<http://www.kjfellow.com/>